

私の当院におけるNo.1

長年当院に在籍して行ってきた業務の多様性は、医局で一番と思います。AED導入、AED検討会、院内急変のコードブルー体制、死後の画像診断(Ai)体制、湖南救急隊や他の救急病院との交流と連携、メディカルコントロールへの参加、救急研修コース(ICLS)開催、内科救急コース(JMECC)

開催などで救急医療の向上に努めてきました。ゼロから災害対策マニュアルや備品の整備を行い、大規模訓練などにも力を入れました。クリニカルパスを導入し、禁煙外来を導入・継続し、当院の産業医も務めています。滋賀県の身体障害者と指定難病の審査員や、社会保険診療報酬支払基金の審査員も務めています。

私の専門分野

内科系で救急が多く、治療の効果が目に見える循環器内科を専門にしました。2006年に心臓カテーテル治療の世界的カリスマだった上司が退職、開業されました。循環器内科部長に指名されましたが、スタッフは半減しました。地域における循環器系医療を守るため、残されたスタッフと循環器内科の存続に努めました。

虚血と不整脈のインターベンション治療を当科の二本柱に据えて、救急を断らない方針を堅持しました。診療の主体をカテーテル室と救急に置き、医療安全を確保しつつ業務

を合理化しました。スタッフの採用を進め、若手医師の養成に努めました。近隣の医療施設や医師会との連携も進めました。また”当院の救急の最後の砦”をモットーに、救急特殊病棟(現在のHCU)の体制をスタッフと整備しました。現在は中堅、若手の世代が頑張ってくれています。

教育研修センターが設立されてからは、その体制作りと設備の整備を進めています。研修医だけでなく、職員の研修体制の環境整備にも努めています。組織を活性化する人材であるファシリテーターの養成研修会も行い、職員が安心して働ける職場づくりを目指しています。

医師じゃない私の素顔

新聞を熟読し、情報を深掘りするのが好きです。また歴史好きで、古代から現代までの歴史が重層的な滋賀に住み、歴史の詰まった京都に行くのを楽しんでいます。地域の歴史の探究と広報のため、地元自治会と協力してホームページを作成しました(敏満寺ふるさと通信)。また日本史を深く知るために茶道も習っています。

小学校5年生からボーイスカウト活動をしていて一時離れていましたが、今は地元で副団委員長として活動しています。こちらのホームページも担当しています(ボーイスカウト犬上第一団)。”そなえよつねに”はスカウトのモットーで、病院の日常業務でも心がけています。



茶道のお稽古で着物姿



ボーイスカウト犬上第一団の活動

読者の皆様へ一言

住民の方々が、世界的な水準の医療を滋賀県で受けられるようにしたいという思いで勤務してきました。日常臨床で多忙な中、診療データを集め、解析し、国内外で学会発表や論文という形式で発表してきました。また、その結果を基に日々の治療の改善に努めました。

当院で働いていて日々思うことがあります。それは医局を

はじめ、医療職、事務職の多職種の方が、常に真面目でプロ意識を持って働いている、ということです。チームとして働いていて気持ちよく、そのため赴任当初は数年でやめるかも、と思っていましたが、今日までずっと勤務しています。

もちろん私も含めて当院に関して至らぬところは多々あるかと思いますが、読者の皆様には、日頃からご忌憚のないご意見・ご感想をいただければと思います。

「若手医師の育成、研修について」

～その取り組みと紹介～

昔の医師の研修は卒業後すぐに専門科に進みましたが、自分の専門しか診察できない、患者さんの併存疾患に対応できない、急変時に対応できないなどの弊害がありました。

現在の初期研修は、将来の専門科が何科であっても一般的によくある疾患を経験し治療できることを目的としています。卒業後2年間は内科、外科、救急科、産婦人科、小児科、精神科、地域医療をローテートします。その上で専門医になる研修をさらに3年以上受けます。この期間に医師として必要な知識、技術、態度を養います。

当院は“成人病センター”で、滋賀県のがん、心臓病、脳卒中の基幹病院として設立され専門性が高い病院でした。初期研修医の教育には限界がありましたが、院内の医局、看護部をはじめとする各部署、また院外の医療施設のご協力をいただき、少しずつ教育体制を整えることができました。現在、総合病院として診療体制も充実し、一学年10名前後の初期研修医と、京都大学と滋賀医科大学からのたすき掛け（京都大学と滋賀医科大学の研修医が1年間当院で研修）を受け入れています。また専攻医の若手医師も増えてきました。

研修医たちは日々真面目に研修し、別人のように成長しています。彼らが病院スタッフや患者さんから温かく見守られているのを実感しています。当院の患者さんや医療関係者の皆様には、若手医師教育に引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。



医学生向けの大規模説明会で勧誘活動



初期研修医BLS(Basic Life Support)研修の様子.eps

滋賀県立総合病院広報委員会(事務局総務課)

〒524-8524 滋賀県守山市守山五丁目4番30号
電話077-582-5031(代表)

滋賀県立総合病院ホームページ
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/>



※本誌へのご意見や感想等をぜひお寄せください。
FACEしがネット受付サービス
<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/surveys/8124789265493085857>



〈病気と治療の検索サイト公開!〉

症状や病名から気になる疾患の治療法などを検索できるサイトを公開しました!
詳しくは当院ホームページをご覧ください!



当院ホームページURL
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/center/news/326984.html>